

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	画像設計演習						
科目区分	専門科目	単位数	4単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択必修科目(デザインコース)/選択科目(建築コース)/選択科目(建築工学コース)						
担当者	鶴野幸子						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベクタグラフィックス系ソフトウェアの基本を理解し、自由に使用することができる。(A4)</li> <li>・目的に応じた画像の表現方法を試行錯誤し、自ら見つけ出すことができる。(D2)</li> <li>・制作した作品の内容や意図をプレゼンテーションすることができる。(A7)</li> </ul>						
内容	9月18日 9月25日 10月2日 10月9日 10月16日 10月23日 10月30日 11月6日 11月13日 11月20日 11月27日 12月4日 12月11日 12月18日 1月22日	第1回: 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法、最新の著名作品の紹介他 第2回: 画像処理の基本1 第3回: 画像処理の基本2 第4回: 課題1の制作 第5回: プレゼンテーション 第6回: 擬似3次元の作成(1) 第7回: 擬似3次元の作成(2) 第8回: 3次元モデリングの基本(1) 第9回: 3次元モデリングの基本(2) 第10回: レンダリングの基本 第11回: モデリングの応用と中間課題 第12回: レンダリングの応用(1) 第13回: レンダリングの応用(2) 第14回: 課題2の制作 第15回: プレゼンテーション					
成績評価基準	課題60%、演習30%、プレゼンテーション10%で評価する						
授業到達目標の達成度	一部の学生を除き、大半は概ね到達目標に近いところまでできていると考える。						
反省点	建築系のコースの学生で、受講申請しているものの、単位は足りているので演習だけ行いたいという学生達があり、熱心に受講するが課題を提出しないため、結果的に課題の未提出者が多くなってしまった。						
来年度の計画	今年度の方法をベースに個別対応についても充実させる計画である。						
授業評価アンケートに対するコメント	(裏面のコメントはありませんでした)						
履修登録者数	41名	定期試験 受験者数	34名	合格者数	31名	合格率	91%